

防災部会の報告

大きな成果、課題も

— 初の総合防災訓練 —

8月28日(日)、若槻地区で初めて総合防災訓練を実施しました。この訓練は、大地震発生を想定し、自主防災会連絡協議会が各区、協力団体と連携し、若槻地区全体の防災訓練として実施されました。

当日は、まず若槻地区本部設置訓練及び情報伝達訓練を行い、続いて、各区の避難場所から、第2避難場所である若槻小学校の校庭に約300人が避難し、若槻地区全体での災害時対応訓練を行いました。校庭では、バケツリレーや消火栓による消火訓練、倒壊家屋からの救出訓練、119番への通報訓練等を参加者全員が順番に体験。



倒壊家屋からの救助訓練

今回は様々な訓練が実施されましたが、反省として各区と本部の情報伝達や住民への広報について、更なる充実を求める意見が多く出ました。

自然活用部会の報告

土京川の清掃と生き物ウォッチング



土京川の清掃

10月8日(土)、早朝から自然活用部会とほたるサポーターズクラブが協働で、ホタル群生地の土京川を清掃しました。来年もホタルの乱舞を楽しませてもらえるよう期待して、約30名により草刈りとゴミ拾いを1時間かけて行いました。

清掃の終了後には、子ども達が集まり親子で川の中の生き物ウォッチングを体験しました。



沢ガニだ。でっかい

初めに、川の汚れ具合を確認するために簡易的なパックテストを使って、数値を調べたところ、今回は少し汚れている状況。続いて川に入り昆虫を採取、ホタルの生息地にはヤゴ、沢ガニ、カワニナなど沢山の生き物が住んでいました。家族からは「すごいや楽しい」との声があがりました。

上野区で里山整備



前向きに意見交換した説明会

9月14日(水)、上野公民館で大池周辺の里山整備事業の説明会が開催され、地権者などが集まりました。

県地方事務所林務課の担当者からは、荒れた山林を間伐整備することにより、災害や病害虫・野生鳥獣被害等に強い森林づくりを行うためとの説明がありました。この事業は、県の単独事業で行われ地権者の負担はありません。

今後の事業計画として、地域で地権者の同意を取りまとめ、協議会を立ち上げ、23年度の事業実施を目指します。